

大阪外国語大学グリークラブ OB 会(東京)

2005年演奏会

2005年

4月3日（日）

15：00～

カスケードホール

ごあいさつ

本日はお忙しい中、私どものコンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。
大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）と男声合唱団ハートストリングスは別のイベントで知り合った縁で過去3回、ジョイント・コンサートを開いてきました。大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）は故清水脩氏、男声合唱団ハートストリングスは多田武彦氏という男声合唱の本流ともいえる男声合唱の名曲をレパートリーとし、共に人数不足に悩まされながらも活動を続けています。
お集まりの皆様にとりまして、小人数による繊細な響き、30名近い人数で歌うダイナミックな響きと男声合唱の魅力を今回の演奏で伝えることができれば幸いです。
どうぞ最後までお付き合いください。

プログラム

第1ステージ：大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）

黒人靈歌から5曲

Go Down Moses, Sometimes I feel like a Motherless Child
The Battle of Jericho, Didn't my Lord deliver Daniel?
Steal Away

指揮：小貫岩夫

第2ステージ：男声合唱団ハートストリングス（贊助出演）

「山田耕筰作品集」 編曲：増田順平

1. からたちの花 2. 待ちぼうけ 3. 鳥の番雀の番 4. 風車の歌 5. 砂山
6. 赤とんぼ

休憩

第3ステージ：大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）

「5つの日本民謡」 作曲：清水脩

1. そうらん節 2. 機織唄 3. 佐渡おけさ 4. 五木の子守唄 5. 最上川舟唄
指揮：小貫岩夫

第4ステージ（合同演奏）

Sea Shanty

1. A-Roving 2. Lowlands 3. Shenandoah 4. Whup! Jamboree

指揮：永谷克貴

曲目紹介

1. 黒人靈歌

昭和32年の第1回定期演奏会（新制大学）から最後の第41回定期演奏会まで、必ずステージで取上げてきた大阪外国語大学グリークラブが最も得意とするレパートリーです。過去の演奏会で歌った50曲近いレパートリーの中から、本日は代表的な黒人靈歌5曲を演奏します。

2. 山田耕筰作品集

今回ハートストリングスは、山田耕筰の作品の中から、親しみやすい編曲で知られる増田順平さんの編曲でお送りします。北原白秋とのコンビでよく知られるからたちの花、中国の説話を題材にした待ちぼうけ、コミカルな味わいの鳥の番雀の番、民謡調の風車の歌、ロシア歌曲風な砂山、そしてきっと誰もが郷愁を覚える赤とんぼの6曲です。「明るく、楽しく、なつかしい」ひとときを過ごしていただけたらと思います。

3. 清水脩作曲「5つの日本民謡」

日本の民謡を西洋和声で編曲したこれらの曲は、各地の男声合唱団に非常に人気があります。因みに、かの中山晋平氏は「最上川舟唄は（ロシアの）ボルガの舟歌に勝る」と評しました。

4. Sea Shanty

- A Roving : 色目を使って失敗したというコミカルな曲。 (have a roving eye : (主に男が女に)色目を使う、 a roving : ここでは「浮ついた心で、出来心」と訳したい)
- Lowlands : 錨を巻き上げる作業の時に歌われる曲。元々はスコットランドの葬送歌。(Lowlands : スコットランドの低地地方)
- Shenandoah : 一般的に川を行く舟人達の曲と言われていますが、インディアンの住み慣れた美しい土地から強制的に立ち退かされ、遠く離れていく時の悲しい気持ち、無念の思いがこの曲を作ったのではないかとの説もあります。
- Whup ! Jamboree : 地名だけをたどっていくと、船がイギリスに近づき、リバプール湾のウォーターラー港に入っていくまでの進路がわかります。陸に上がって大宴会だけで終ります。(whup : むちで打つ、人を集めさせる)

プロフィール

大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）

大阪外国語大学グリークラブの関東地区在住OBを中心とする男声合唱団です。大阪外国語大学グリークラブは、昭和初期には作曲家の清水脩氏が学生指揮者を務めた伝統ある合唱団ですが、1999年に部員の減少から廃部となりました。そこで、伝統の灯を消すまいと大阪・東京でOB合唱団として練習を続けており、2006年には全国のOBが大阪に大集合し、「創部80周年記念演奏会」を開く予定です。

主なレパートリーとして、大学の性格から原語で歌う世界の名曲と、清水脩氏の合唱曲を二本柱としています。3年前から二期会の小貫岩夫氏を指導者に迎え、厳しい指導の下、練習に励んでいます。昨年11月に東京都合唱連盟主催の「第19回シルバーコーラス交歓会」におきまして、「中国民謡・草原情歌を情感豊に歌いあげた」という推薦理由で、講評者特別賞を授与されたことを付記します。

指揮：小貫 岩夫（二期会会員）

同志社グリークラブのトップ・テナーのパート・リーダー、ソロを務め、神学科を卒業後大阪音楽大学に入学、林誠氏（大阪外国語大学グリークラブのボイストレーナー、指揮者を30年以上にわたり務め、現在大阪OB会の音楽監督）に師事、主席で卒業。オペラ研修所第11期終了。1998年文化庁派遣でミラノに留学。「忠臣蔵」「ニュルンベルクの歌手」「椿姫」等二期会公演でいずれも喝采を浴びた。一昨年1月に、市川団十郎演出で話題になった「鳴神」に出演し好評を得た。

男声合唱団ハートストリングス

1991年、関東大学合唱連盟に加盟していた東京近郊の大学混声合唱団のOB有志により結成、活動を始めました。その後メンバーチェンジを経て、現在はさまざまな経験・個性をもつメンバーで構成され、小人数ですが気の合った温かい音楽を目指して練習に取り組んでおります。また、自主公演をはじめ、合唱祭やジョイントコンサートなどで練習の成果を発表させていただいております。なお新規メンバー募集中です。お気軽にどうぞ。

出 演 メンバー & インフォメーション

大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）

指揮者：小貫 岩夫、北村 照夫（団内指揮者）

Top	Tenor	Second	Tenor	Baritone	Bass
北村 照夫 (R)	若林 允 (C)		野田 大祐 (C)	荻野 芳毅 (S)	
五十嵐 強 (IP)	西川 璞治 (HI)		大塚 享 (D)	大倉 明治 (E)	
片渕 明広 (*)	山中 道宏 (D)		岸本 保 (C)	樽井 一仁 (R)	
+上田 哲也 (R)	木下 和夫 (S)		三神 徹 (S)	橋本 和直 (S)	
	松本 博 (T)		松村 尚人 (S)	安良 雄一 (R)	
	秋山 正樹 (A)				

A : アラビア語 C : 中国語 D : ドイツ語 E : 英語 HI : ヒンディ語

IP : インドパキスタン語 R : ロシア語 S : スペイン語

* 大分大学経済学部 + : 大阪OB会所属

- 来年度の東京での演奏会は2006年4月上旬を予定しています。
- 2006年4月中旬、大阪にて「大阪外国語大学グリークラブ創部80周年記念演奏会」を大阪OB会が中心となり開催する予定です。
(黒人靈歌、モーツアルト：6つのノクターン、清水脩作曲「5つの日本民謡」「月光とピエロ」予定)

男声合唱団ハートストリングス

指揮者：永谷 克貴

Top	Tenor	Second	Tenor	Baritone	Bass
井上 智晴		永谷 克貴		遠藤 英樹	中山 由民
塚本 宏之		松尾 則之		山城 敬法	樽井 一仁
		熊谷 直人			

男声合唱団ハートストリングスホームページ

<http://www.ousaru.com/hs/>

男声合唱団ハートストリングス第12回演奏会 2005年秋 開催予定